

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） どうもありがとうございます。

その中身にちょっと入りますけど、太鼓かっちえる、上対馬で活動しておられるかっちえるでございますが、やっぱり先ほど言いましたように、舟志の太鼓保存会を継続して、こうやっていかれる。これは地域の皆さんの力の賜物というふうに思いますが、そこに支援はしてあるというふうに思いますが、これが県とか、全国大会とかになればそういう予算がかかると思うんですが、そこら辺を夢づくり基金で出していただいて、思う存分に子どもたちが対馬を売りに出せることをやる予算措置をしていただきたいなと思いましたが、教育長、難しいでしょうけど、そこをもう一回お願いします。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 現在も夢づくり基金のほうから支援をしておりますし、今後ともその県大会、全国大会に行く場合には、きちんと支援をしていきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 予算の特別委員会でも、私少しお尋ねをいたしました。まず実績が3月末にならないとわからないということで、どのぐらいの予算を使われているかというのがまだわかっていないんですが、地域で寄附を募ったり、いろいろしてあるんです。かなり太鼓というのは道具が多いから、そこら辺も含めて再度検討していただきたいなというふうに思って、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、春田新一君の質問は終わりました。

.....
○議長（小川 廣康君） 昼食休憩とします。再開を午後1時ちょうどといたします。

午前11時56分休憩

.....
午後0時58分再開

○議長（小川 廣康君） それでは、再開します。

午前に引き続き市政一般質問を行います。2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 初めに、市長におかれましては、先月の御遊説、大変お疲れさまでした。難題が山積しているとは存じますけれども、一つ一つ解決に向けて取り組んでいただきたいと思えます。

さて、本日は、1点目に成年年齢引き下げに伴う本市の成人式典の考え方について。

2点目は、市立幼稚園の現状と幼稚園・保育園との連携型機能についてお尋ねをいたします。

初めに、2年後の2022年4月、民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられます。こ

のため、成人式典を18歳以上に引き下げて開催される場合、本年度開催の成人式対象者331名から単純計算いたしますと700名前後となり、その対応に多大な労力を費やすことが予想されます。本年度の県下21の市町の成人式典は、1月中に終えましたが、式典そのものを18歳以上を対象に据えますと、大学入学共通テスト受験時期や就職試験等と重なること、現在もそうですが、インフルエンザ等により患し、式典そのものに参加できないケースが見込まれます。

ここで、参考までに資料を作成しておりますので、説明いたします。資料は、県下21市町における成人式典調べということで、日程をまとめてみました。

1月3日は、本市を含む3市4町、翌日4日は5市、5日は1町のみで、従来の成人の日にはお隣の壱岐市を含む5市3町で開催されています。

本市におきましては、成年年齢が18歳に引き下げられます2年後の2022年、18歳以上対象とした成人式典の可能性があるのか、成年年齢引き下げを見据えた環境整備が求められます。

このため、式典そのものを1月実施から5月の大型連休もしくは夏季期間への移行について考えられないか、現時点での方向性について担当部局にお尋ねをいたします。

2点目でございます。

公立幼稚園の現状と幼保連携型機能についての質問でございます。

対馬市立幼稚園及び保育所の現状といたしまして、本市には公立及び民間運営の幼稚園が4カ所、また、公立及び指定管理制度での運営のへき地保育所や私立運営の保育園、保育所が16カ所整備されています。

ここでは、私立運営の幼稚園及び保育園と、指定管理者での運営のへき地保育所を除く公立幼稚園や保育園の利用状況でございますけれども、比田勝こども園併設の幼稚園部、鶏鳴幼稚園、厳原幼稚園の3園は、いずれも定数割れでの運営となっております。

一方、市内4カ所の市立幼稚園は定数内外での運営となっております。

ここで資料を準備しておりますので、御説明いたします。このグラフは私立幼稚園・保育園及びへき地保育所を除く公立幼稚園及び保育所の利用状況をあらわしております。白い色の折れ線はそれぞれの施設の定数で、縦棒は幼稚園及び保育所の利用状況をあらわしています。

ピンクの縦棒は幼稚園の利用状況で、厳原、鶏鳴、比田勝こども園幼稚園部の3園は、利用者はいずれも40%以内で、公立保育所の利用状況は定数内外で運営がされていることがおわかりと思います。

このように、公立保育所と比較して幼稚園の利用状況が低く、定数割れの実態を、どのように捉えられているのか、教育長の御見解をお願いいたします。

次に、幼稚園・保育園連携の認定こども園の創設についてのお尋ねです。

幼児期の学校教育、保育、地域の子ども子育て支援を総合的に推進するため、子ども子育て支

援の新制度が平成24年に創設されました。参考までに、幼稚園と保育園の相違点を示した資料を準備していますので、御説明いたします。

資料は対象年齢、保育時間、保育料の設定、給食提供の有無、資格。所管省庁でおわかりと存じますが、幼稚園は学校教育法に基づく文部科学省の認可、また、保育所は児童福祉法に基づく厚生労働省による認可で、俗にいう二重行政のもとで創設をされています。地域での子ども子育て支援を総合的に推進するため、同時に認定こども園法も改正され、新たに幼保連携型認定こども園として、学校及び児童福祉施設の法的には単一の施設として、内閣府管轄として創設をされています。

先ほど、資料でお示ししましたが、直近の雞知保育所の利用状況は、定員143名に対して利用者数は145名で、利用率は定員超過の約121%となっております。

私が所属いたします厚生常任委員会で昨年10月、雞知保育所を訪問いたしました。特に年長さんの遊戯室の問題は数年前から解消されずに今日に至っているそうでございます。それぞれの保育ルームが狭隘で、園児や保育士さんはストレスを感じているとの印象が今でもございます。

御家庭の愛情で育んだお子さんは地域の宝、島の宝でもございます。島の継続には、今、島で生きる私たちそれぞれの世代で子育て支援、子育て御家庭への就業支援は不可欠でございます。これらの目的達成に向けて、鶏鳴幼稚園と雞知保育所を融合した認定こども園を創設し、地域社会に貢献できる子育て支援、さらに就業支援策を含めた乳幼児育成が重要施策と考えますが、教育行政としての取り組みについて御見解、よろしく願いをいたします。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 伊原議員の御質問にお答えいたします。

初めに、令和4年度からの成人年齢引き下げに伴う成人式典についてでございますが、現在、対馬市では過去のアンケートに基づき、成人者が参加しやすいと思われる1月3日に成人式を開催しています。

成人年齢の引き下げに伴い18歳が該当することになり、この年齢は高校3年生に当たる年齢であり、議員御指摘のとおり大学受験や就職といった人生を左右する大きな節目の年齢になります。その準備に多くの時間を費やしてきた子どもたちが、出席したくても出席できない状況になることは避けるべきであると考えます。

教育委員会としては、県内の他の自治体の動向も見ながら、令和2年度から本格的に協議・調整をしていきたいと考えております。18歳が該当するとなると、現中学3年生からが該当者となります。そのため、今後、成人式を迎える対象者やその保護者にも意見を伺うなど、対象者が参加しやすい日程の設定や環境をつくっていききたいと考えます。

また、年齢の問題もさることながら、改正法が適用される令和4年度には、18歳、19歳、20歳の該当年齢ごとに開催するのか、または、その年に限り3カ年分を一緒に開催するのか。その場合の会場の確保や開催時期はいつにするのかなど、検討していく課題があり、慎重かつできるだけ早い時期に方針が出せるよう、検討を進めてまいりたいと思います。

次に、市立幼稚園の現状と保育連携型機能についてでございますが、現状といたしましては、まず、比田勝こども園は認定こども園として運用しておりますので、1号認定、2号認定、3号認定のゼロ歳から5歳までの幼児・乳児を受け入れており、幼稚園児1号認定数により受け入れる人数制限に影響はございません。

厳原幼稚園、鶏鳴幼稚園につきましては、定員を下回っている現状でございます。この原因といたしましては、社会情勢の変化により共働き家庭がふえたこと。さらに、子ども子育て支援制度が追い風となり、働くお母さんの数がふえたことが大きな要因ではないかと考えております。

しかしながら、厳原幼稚園、鶏鳴幼稚園の両園においては、園児一人一人に対してきめ細やかな教育がなされているものと捉えております。

次に、鶏鳴幼稚園と雞知保育所の統合による認定こども園創設についてでございますが、教育委員会といたしましては、幼稚園の定員割れや保育所の過員状態を踏まえ、幼保連携型の認定こども園の創設については、考える余地があるかと思えます。実現に向けては施設の問題、幼稚園教諭や保育士の問題などについて、福祉部局と連携しながら進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） まず、1点目の成人式の件でございますけれども、教育長さんもそうでしょうけど、私たちの成人式は1月の15日だったと思えます。1月3日になったのはいつからおっしゃっていましたが、もう一度、よろしく願います。資料がなければよろしいですけど。ないんですね。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 確かにいろんな諸準備等も踏まえて、1月3日が非常に良だということで、その日に設定されたと思えますけれども、今回の新型コロナウイルスも踏まえて、やっぱり冬時期、悪天候による空路・航路の欠航だとか、それから、いろんな病気に罹患し欠席される方々、ことしも若干いました。予定に比べて非常に少なかったということでお聞きしておりますけれども、そのあたりを含めまして、少しやっぱり気候のいい日に移行されたほうがよろしいんじゃないかという気がいたします。これは年に一度の振袖だとか、いろんなこともございましょうけれども、これはあくまでも記念ですから、その日に振袖の写真撮影あたりでも可能かなというふうな気がいたします。

特に、豪雪地帯あたりは冬場はどうしても雪で着物あたり、草履で滑ったり、いろいろそういった諸問題で、夏場に移行している地方もございますけれども、先ほど申しましたように、県下21市町におきましては、1月中にほぼなされているということでございます。

そのいいか悪いかは、デメリット・メリットもございましょうけれども、実は、美容業を営む方から、年末から年始にかけて非常に多忙で疲弊していますというお話がございました。できましたら、1月中の成人式を少し移行していただけないかという御相談がございましてですが、この件で今回ちょっと少し取り上げさせていただいたのが事実でございます。

先ほど少し調整をしたいというお話でございましたけれども、具体的にアンケートあたりを今後おとりになって、どう進めるか。数年かかろうかとは思いますが、教育行政として1月中が望ましいのか、5月の連休中あるいは夏季期間がいいか、そのあたり少しプランがございましたら、一言、教育長、お願いしたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 議員がおっしゃられますように、私も1月15日に成人式をしたと思います。で、対馬市の場合には、このアンケートをとって、こどもたちが、島外に出ているこどもたちが一番参加しやすいであろうということで、1月3日に成人式が設定されたものというふうに捉えております。

で、今、教育委員会のほうでアンケートをとる準備を進めております。よって、今回もアンケートの結果を参考にさせていただきながら、令和2年度中には方向性を出さないと間に合わないんじゃないかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 今までの取り組みから少し変更ということになりますと、またいろんな調整が大変だと。それは私も十二分理解しております。

1月がいいのか、連休がいいのか、これは賛否両論ございましょう。確かに保護者の方々の御意見も必要と思いますので、この件につきましては、またアンケート等を十二分おとりになって、で、公表できるような形で少し進めていただければなというふうに考えております。

以上で、この1点目については終わります。

それから、2点目に入ります。

昨年の10月に、私ども所管する委員会で雞知保育所を訪問させていただきました。園庭がまだ浮き上がったり、いろいろそのときは支障がございまして、その後、ちょっと確認はしておりませんが、これは市長部局と思いますが、振りませんから大丈夫です。非常に狭隘の中で園児それから保育士さんが1日を過ごされてあるあの光景は、やはりちょっといかなんかな

と。少しやはり子どもたちが安心安全、それからのびのびとした室内で保育ができるような手だてが今後必要かと思っております。

で、ただ単に雞知保育所を改修しても、同じような状況かと思いますので、今のスペースであれば、もうどうしようもございません。で、鶏鳴幼稚園につきまして、定数割れということで、先ほど資料でお示ししましたが、このあたりを少し、雞知保育所とそれから保育園との幼保一体型の施設はできるような方向性を少し見出していただければなど。これは、やはり島の宝でもありますし、お子さんたちがのびのびと保育ができるようなそういった手だてを講じるのが、私たちの役割だと思っておりますので、できましたら、教育長さん、今の鶏鳴幼稚園のスペースがどのくらいまだあるのか、ちょっと私は把握しておりませんが、雞知市内には大きな空き地がまだございます。どことは言いませんけれども、そのあたりを含めて、保育所との幼保一体型の考えについて、もう一度確認をさせていただきます。お願いします。

○議長（小川 廣康君） 伊原議員、先ほど保育所と保育園と言いますが、保育所と幼稚園の違いではないでしょうか。それは訂正して。

○議員（2番 伊原 徹君） 幼稚園と保育所の幼保一体。済みません。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 先ほども言いましたように、幼稚園が定員割れをしていると。逆に、雞知保育所のほうは過員状態であるということ踏まえたときには、認定子ども園の創設については、今後考えていかなければならないというか、考えていく必要があるんじゃないかなというふうに捉えております。

ただ、新しく施設をつくる云々については全く検討しておりませんが、福祉部のほうとは子ども園の創設に向けて少しは検討を始めております。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） ありがとうございます。まだ少しですね。そうですか。

今後の計画もございましょうけれども、まずは、保護者へのアンケートはまだですね。今の雞知幼稚園の保護者、それから保育所の方々の今後の方針と申しますか。

これは、市長部局とも一体となった子育て支援という観点是非常に必要でございますので、教育行政のほうがいニシアチブをおとりになって、それから進めるのか、市長部局が進められるのか、そこは一体となって連携をとりながら進めていただければと思っておりますが。

いずれにしても、今の雞知保育所は非常に狭隘でございます。これをどうとらえるか。で、幼稚園のほうは少し余裕があるのかなど。定数に対して40%程度の利用率でございますので、このあたりの計画というのは、当然予算も伴いますけれども、ある程度計画を持って、いついつ創設をしたいということが必要なと思っております。

今はインフルエンザで休校は小中学校か。幼稚園はまだ日々狭い中で保育はされていると思いますけれども、やはりその方向性を、市として、教育行政として、市長部局として、子育て支援の案件については少ししっかりとした日程を、できればスケジュールを是が非でも進めていただければなと思っております。

これは、今まだこれから調整をしたいということでございますけれども、早目にすべきじゃないですか。敷地の問題もございましょう。予算の問題もございましょう。令和2年はもう無理としても、3年度に予算が計上できるような、2年度中に計画ができるような方向性というお考えはいかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 教育委員会の管轄は幼稚園であります。で、保育所のほうは福祉部のほうが管轄をしておりますので、私たちが幼稚園教育が今成り立っているわけですので、こども園に向けて私たちが先導して取り組むというふうには、私は考えておりません。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 涼しい表情でそんなにされんでください。少し明るい方向で行きましょうよ。そのあたりは私も十二分に承知しております。ですから、教育行政がイニシアチブをとられてもいいし、市長部局がとられてもいいんじゃないですか。横の連携をとりながら、認定こども園については内閣府が所管いたします。内閣府が間に入って。そういった形でいいんじゃないですか。保育所は、もう自分たちの管轄じゃないから、それ以上お話ができないということになると、もう話が終わってしまいますよ。それじゃいかんでしょ。私もそういった話をしているんじゃないんです。大人の世界でいきましょう、大人の世界で。

今回、やはり市長が10日間の遊説でお疲れということで、私は副市長、教育行政にちょっと振りまいたけれども、そのあたりを少しわかってください。

やはり何回も言いますけれども、こどもをどう育てるか。島の経済を今後担う、将来を担うこどもをどう育てるか。ここはやっぱり一つのポイントでもありますし、答えじゃないかなと思っております。幼稚園も今、ある程度は、比田勝もそうでしょう。巖原も、あとは私立の幼稚園もそうでしょうけれども、皆さん、一生懸命に仕事ができるような、保護者もゆつくりと仕事できるように預けてあるわけですから、対馬市にとってもその子育て支援ができるような方向を是が非でもしていただきたいというふうな、私の思いです。そういった思いですから、教育長さん、少し理解をしていただければなと思っております。

それで、今、定員割れということで、これはいろいろな諸問題がございましょう。で、定員割れの最大の要因は、教育長さんとしてはどのようなお考えをお持ちでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 定員割れということに対しては、費用対効果としてはマイナスかなとは思いますが、定員割れであっても、幼稚園にやってくる子どもたちの教育というのはきめ細やかにできるのではないかなというふうに捉えております。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹議員、通告はしておりませんが、これは市長部局にかかわる件もありますが、議長として許可いたしますが、市長部局のほうの御意見を伺わなくてもよろしいですか。特別に市長宛ての通告はしておりませんが、今の状況の中ではちょっと一方通行になりますので、特別に許可いたしますが、市長部局のお考えを聞く必要があれば、許可いたします。

○議員（2番 伊原 徹君） ありがとうございます。済みません、遠慮しておりました、本当に。市長も何かやっぱりいろんな手だてがあるのかなという思いはしておりましたけれども、先ほど申しましたように、今回、あえて教育行政のほうにぶつけてみました。

今後の子育て支援について、特に市長がこうしたいということがございましたら、よろしくお願いたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この幼保連携の前に、今現在の雞知の保育所の園庭の関係を申されましたけども、この園庭につきましては、この3月までに改修を終わるという報告を受けているところでございます。

そして、今現在進められておりますのが、現在保育所の中でございます、この学童クラブの分も別に移転するめどがつかまりましたので、そちらのほうに学童クラブのほうは移転をしていただきまして、そこは保育室として今後改修をして使っていこうという計画を進めているところでございます。これはもう来年度、新年度以降です。申しわけございません。

それと、この雞知の幼稚園と保育所の幼保連携型の関係でございますけども、このことにつきましては、以前からも検討が加えられてきているところでございます。今現在、いつこれが実現するかとまでは、まだ申されませんが、このことにつきましても、教育委員会部局のほうとともに検討を重ねてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） ありがとうございます。実は、市長のお答えを聞きたくてむずむずしておりました。議長、ありがとうございます。

雞知保育所の案件につきましては、昨年10月から約半年後に改修が終えるということで、少し遅うございますけれども、大変よかったですなと思っております。

それから、幼保連携型につきましても、市長部局のほうである程度方向性を出したいというお

答えでございます。この件につきまして、今、保育あるいは幼稚園で子育てを一生懸命なさっている保護者の方も少し安心をされたんじゃないかと思っております。

教育行政のほうに少しぶつけし過ぎて、御機嫌斜めになりましたけれども、少しは私の気持ちは察していただいたと思いますので、これを機に少し御勘弁をしていただければと思っております。

子育ては私たちの住むこの対馬のこれからのいにしえまでに継続をしなければならないというふうに思っております。何としてでも今のこの状況を、人口が3万人を切ることをしないよう、少しでも多くの子どもたちがこの島で生まれ、育ち、そして生活できるような体制づくりを是が非でも進めていただきたいというふうに考えて、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を午後1時50分からとします。

午後1時34分休憩

午後1時48分再開

○議長（小川 廣康君） それでは、再開します。

報告します。この議会日程の変更により、きょう教育委員会を開催する予定にしておりましたので、教育長並びに教育部長から早退の申し出がっておりますので、報告いたします。

再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 一般質問に入る前に、まずは、比田勝市長、再選おめでとうございます。そしてお疲れさまでした。市長の公約のパンフレットの中に、市長の政治姿勢について、剣道の道を追求する。守、破、離の精神が示してありました。私は、剣道のことはわかりませんが、そのパンフレットによるその意味は、「しゅ」は、字は守ると書きますが、先人たちが築いてきたものを学び、尊ぶということだと思います。2番目に、「は」は破るという字ですが、よいことはさらに伸ばし、改善すべき点は正して高めます。3番目に「り」、離れるという字ですが、さらに新たな息を吹き込み、新たな対馬の道を見きわめて、前進していきますと書いてあります。

また、さらに自分の境地を切り開き、豊かな島づくりへと前進していきますとも書いてあります。

1期目の選挙を振り返ってみますと、市長の1期目の選挙は、思いもかけない市長選挙に立候補の要請を受けられまして、悩み悩まれた結果、市長選に立候補されたと聞いております。厳し